

第68回全国人権・同和教育研究大会 ご案内

主催：公益社団法人 全国人権教育研究協議会

それぞれの職場・地域において、人権教育、同和教育の推進にむけてご尽力されているみなさまに心より敬意を表します。

公益社団法人全国人権教育研究協議会（以下、全人教）は、第68回全国人権・同和教育研究大会を熊本県で開催すると決定し、熊本県人権教育研究協議会を中心としてその準備がなされてきました。しかし、4月から続く熊本地震による被災は甚大で、研究大会の熊本開催を断念せざるをえない状況となりました。そして断腸の思いで開催を断念された熊本県人教から、全人教研究大会の歴史を途絶えさせることなく、全人教に結集する仲間の力で、何れかの地で、何らかの形で第68回研究大会の開催を実現してほしいと強い願いも表明されました。そこで、全人教は、全人教の単独主催で、事務局をおく大阪の地で研究大会を開催することを、5月の総会において決定しました。半年という期間での開催準備は大きな困難をともないましたが、下記の要項にて開催することになりました。開会全体会を設けず、特別分科会を含む分科会みの開催となりますことに、ご理解とご協力をお願いいたします。

本研究大会は、36都府県市の加盟人同教から寄せられた部落問題をはじめさまざまな人権問題の解決に向けた実践報告をもとに、多分野、多方面の参加者による人権教育、人権啓発推進に関わる研究協議の場として深化・発展してまいりました。

また、本年は1996年の地域改善対策協議会意見具申「同和問題の早期解決に向けた今後の方策の基本的な在り方」から20年めになります。この意見具申は、同和教育から人権教育へ再構築することを提言し、全人教は「同和教育を基軸とした人権教育の創造」に向けて取組をすすめてきました。

第68回全国人権・同和教育研究大会は、「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」という大会テーマのもと、各地の人権教育の実践者が出会う研究大会の場として、開催いたします。全国各地から豊かな実践を大会分科会へ持ち寄ってくださることをお願いいたします。

短い準備期間で、ご不便をおかけしますが、一人でも多くの方に参加していただき、「事実と実践」をもとにした教育の営みを、分科会において論議・交流していただきたいと思います。

2016年8月

公益社団法人 全国人権教育研究協議会 代表理事 栗原成壽